

AI時代に人間はコードを書かなくなるのか

エグゼクティブサマリー

結論から言うと、「人間がコードを書かなくなる」という表現は、現時点では**半分は正しく、半分は誇張**です。Google ¹ の「75%」は、2026年4月22日にSundar Pichai ² が公式に述べた“**Googleにおける新規コードの75%がAI生成で、なおかつエンジニアに承認されている**”という意味であり、**全エンジニアリング作業の75%が無人化された**という意味ではありません。Googleの公開発言は、2024年10月の「25%超」→2025年秋の「ほぼ半分」→2026年4月の「75%」へと段階的に上がっており、少なくとも一次ソース上ではこのように読むのが最も厳密です。 ³

一方、Anthropic ⁴ の「ほぼ100%」は、**一次ソースではそこまで強くは確認できません**。Anthropicの公式プロダクトページは、「社内では**コードの過半がClaude Codeで書かれている**」と述べています。これに対し、Mike Krieger ⁵ がCisco AI Summitで「Claude is being written by Claude」と述べ、複数メディアが「実質100%」と報じていますが、現時点で私が確認できた**公式の完全な公開文字起こし**は見つかっていません。さらに、Dario Amodei ⁶ はWorld Economic Forum ⁷ で、「社内にはもう自分でコードを書かないと言うエンジニアがいる」「6~12カ月でモデルがソフトウェアエンジニアの仕事の大半、場合によってはほぼ全てを端から端まで行う可能性がある」と述べています。つまり、**Anthropicについて高信頼で言えるのは“多数派・大半・極めて高い比率”まで**であり、「社内の全コードが100%自動化済み」と断言するには、まだ一次ソースが足りません。 ⁸

技術面では、AIコーディングは**補完からエージェント的実行**へ移りましたが、そこから直ちに「人間不要」にはなりません。Anthropic自身の社内調査では、社員はClaudeを仕事の59%に使い、平均50%の生産性向上を自己申告している一方、**完全委任できる仕事は0~20%だ**と答える人が過半でした。METRのRCTでは、熟練OSS開発者は2025年前半のAIツール利用で**19%遅く**になりました。逆にNBERの研究では、別の職種では平均14%、初心者層では35%の生産性上昇が確認されています。要するに、**AIは万能に人を置き換えるのではなく、タスクの種類・経験年数・コードベースの親和性・検証のしやすさで効き方が大きく変わる**ということです。 ⁹

労働市場への含意も単純ではありません。AIは確かに一部の定型作業を圧縮し、世界の雇用には置換圧力を与えています。同時に新しい役割も増やしています。WEFの報告では、2030年までに170百万の仕事が新たに生まれ、92百万が失われ、純増は78百万と見込まれています。また、ソフトウェア・アプリケーション開発者は依然として**成長職種**に入っています。短期的には「コーディングそのもの」よりも、**要件定義、設計、テスト、レビュー、統合、監査、セキュリティ、運用判断**の比重が重くなる可能性が高い、と見るのが妥当です。 ¹⁰

動画の内容整理と検証可能な主張

この環境では、指定のYouTube動画の**正確な全文字幕と秒単位タイムスタンプ**を取得できませんでした。したがって、逐語的な「見たままの全書き起こし」を装って作ることはしません。以下では、**動画タイトルに含まれる中心主張**を、確認できた一次ソース・準一次ソース・公開発言で**厳密に再構成**します。

動画側の主要表現	検証できた発言者・文脈	一次/準一次ソースで確認できる内容	技術的な読み方	信頼度
Google 75%	Sundar Pichai, Google Cloud Next 2026 の公式 remarks	「Googleの全ての新規コードの75%がAI生成で、エンジニアに承認されている」。同時に「昨秋は50%」「2024年10月時点では25%超」という系列も確認できる。 ¹¹	これは新規に追加されるコードの比率を意味する可能性が高い。設計、要件、レビュー、運用、障害対応まで含む“仕事全体”の自動化率ではない。公開発言に測定方法の詳細はない。 ¹²	高
Anthropic ほぼ100%	Mike Krieger, Cisco AI Summit 2026 とされる発言／Dario Amodei のWEF発言	Anthropic公式ページは「コードの過半がClaude Codeで書かれている」と表現。Darioは「自分でコードを書かないエンジニアがいる」「6～12カ月でSWEの仕事の大半、場合により全てをモデルが行うかもしれない」と述べる。メディア報道ではKriegerが「Claude products and Claude code are being entirely written by Claude」と語ったとされる。 ⁸	公式一次ソースだけなら「過半」「かなり多い」が確実。“ ほぼ100% ”は二次報道に依存しており、少なくとも全社・全工程・全タスクを意味すると読むのは強すぎる。 ¹³	中
もう人間はコードを書かなくなる	Google/Anthropicの社内利用、WEF、Anthropic社内研究、METR、Stack Overflow 調査	AI利用は急拡大しているが、Anthropic社内でも完全委任は低い。熟練開発者ではAIで遅くなるケースもある一方、初心者や定型タスクでは大幅な効率化もある。開発者のAI利用率は高いが、信頼度は低下している。 ¹⁴	正しく言い換えるなら、「人間が手書きするコード量は減るが、人間の責任・判断・検証は残る」に近い。	高

この表から見える要点は明快です。動画タイトルのインパクトは大きいですが、一次ソースに寄せると、正確な命題は「AIが初稿・差分・PR生成を急速に肩代わりしている」であって、「エンジニアリングそのものが完全に無人化された」ではありません。¹⁵

Google と Anthropic の一次ソース検証

Googleについては、公開発言の系列が比較的きれいです。2024年10月の公式remarksでPichaiは「Googleの新規コードの4分の1超がAI生成」と述べました。2025年10月には「ほぼ半分」、2026年4月22日のCloud Next 2026では「75%」へと上がっています。したがって、いま“Google 75%”と言うなら、**最も自然な一次ソースは2026年4月22日のCloud Next 2026 remarks**です。逆に、もし古い文脈で“Google 75%”が語られているなら、それは同じGoogleブログに出てくるDORA調査の「75%以上の開発者が日常業務でAIに依存」を混同した可能性もあります。この混同は、言説としては起きやすいが、意味はまったく別です。³

Anthropicはもう少し複雑です。最も堅い一次ソースは、公式プロダクトページ上の「Anthropicではコードの多数がClaude Codeで書かれている」という記述です。これに加えて、Anthropicの社内研究は、社員がClaudeを仕事の59%に使い、平均50%の生産性向上を自己申告しつつ、完全委任は0～20%が中心であること

を示しています。つまり、**利用率は高いが、完全自動化ではなく、密な人間監督付きのエージェント利用が実態です。** 16

そのうえで、Dario AmodeiのWEF発言は、**社内の先端利用例と近未来予測を接続しています。** Dariolは「もうコードを書かないエンジニアがいる」と述べていますが、同時にこれは会社全体の統計というより、最前線の事例を踏まえた観測です。さらに「6~12カ月でSWEの仕事の大半、場合によっては全てをモデルがやるかもしれない」というのは、**予測**であって現況報告ではありません。動画やSNSでは、この予測がしばしば「もう起きた事実」として流通しますが、一次ソースに忠実であるなら、両者は分けて扱うべきです。 17

また、Kriegerの「実質100%」は、公開された完全な公式文字起こしに当たれなかったため、私は**一次ソースとして断定採用しません。**ただし、複数の独立した報道が同じ文言をかなり近い形で伝えており、しかもAnthropicの公式ページの「majority」と整合的な方向を向いているため、「**一部チーム・一部プロダクト・あるいは初稿生成に近い意味で、100%近辺まで進んでいる文脈がある**」と読むことは可能です。ただし、この読み方の信頼度はGoogleの75%より一段低いと見るべきです。 18

技術的に何が可能で、何がまだ無理か

最初に押さえるべきは、**75%や100%が何の比率か**です。少なくとも次の四つは区別しないと議論が崩れます。第一に、AIが書いた**新規コード差分の比率**。第二に、AIが関与した**タスク数の比率**。第三に、AIが使われた**社員・チームの普及率**。第四に、要件定義から設計、実装、テスト、デプロイ、運用までを通した**工程全体の自動化率**です。Googleの75%は第一の意味に近く、Anthropicの「ほぼ100%」も厳密には第一または第二の意味で読むのが妥当です。第四の意味まで広げると、一次ソースはそこまで言っていません。 19

現在のコーディングAIが強いのは、**仕様が十分に言語化され、局所検証がしやすく、テストで正誤を早く返せる領域**です。AnthropicのBest Practicesは、CLAUDE.mdのようなプロジェクト固有の指針、よく使うコマンド、スタイル規約、テスト手順を明示することを推奨しています。また、同社は「コンテキストウィンドウが埋まると性能が落ちる」と明記しており、長大な曖昧プロジェクトを一発で任せるより、**文脈整備とタスク分割**が重要だと事実上認めています。 20

Google側の公式発表も、方向性は同じです。Gemini 3とAntigravityは、単なる補完ではなく、エディター・ターミナル・ブラウザに直接アクセスする**エージェント型開発**を前提にしています。Gemini 3はWebDev Arenaで1487 Elo、Terminal-Bench 2.0で54.2%、SWE-bench Verifiedで76.2%と、コーディング・エージェント系ベンチマークで強い成績を示しています。AnthropicもClaude 3.5 SonnetのSWE-bench Verified 49%、Claude 4系の「state-of-the-art on coding / Terminal-Bench 2.0」といった公式主張を出しており、**モデル単体だけでなく“モデル+ツール使用+反復”の能力が急上昇していることは確か**です。 21

ただし、ベンチマークが高いことと、現実の開発組織で安全に全自動化できることは別です。Anthropic自身の社内研究でも、社員はClaudeを頻繁に使いながらも、完全委任は低く、時間がむしろ増えるケースもありました。その理由として、AI生成コードのデバッグ、後片付け、理解の認知負荷が挙がっています。Stack Overflowの2025調査でも、80%がAIツールを使っている一方、信頼は29%に落ち、66%が「ほぼ正しいが微妙に違うコード」の修正に余分な時間を費やしていると答えています。ここから分かるのは、**生成速度はボトルネックを解消するが、正しさ・可読性・文脈整合性・保守性のボトルネックを別の場所に移す**ということです。 22

特に重要なのはセキュリティと変更管理です。Claude Codeの公式ページは、デフォルトで慎重に動作し、ファイル変更やコマンド実行の前に確認を求めると説明しています。これは裏を返せば、**自律度を上げるほどリスクが上がると**ベンダー自身が理解していることを示します。Googleも「AI生成され、エンジニアに承認された」と繰り返しており、承認が外れていません。したがって、現実の開発では、AIを使うほど**レビュー、テスト、セキュリティスキャン、権限設計、ロールバック設計**が重要になります。 23

timeline

title AIコーディング採用の公開タイムライン

2024-10 : Googleが「新規コードの25%超がAI生成」と公表

2025-10 : Googleが「新規コードのほぼ半分」と公表

2025-12 : Anthropic社内研究でClaude利用59%、完全委任は主に0~20%

2026-01 : Dario Amodeiが「6~12カ月でSWE業務の大半/ほぼ全て」と予測

2026-04 : Googleが「新規コードの75%」を公表

上の図は、公開情報ベースで見た採用深化の流れです。ポイントは、**補完 → 反復エージェント → 組織ワークフロー再設計**という順に進んでいることで、単にモデルが賢くなっただけでなく、運用側のプロセスが再設計されていることです。 ²⁴

flowchart LR

A[要件と制約の定義] --> B[コードベース文脈の整備]

B --> C[エージェントによる実装計画]

C --> D[エディタ/ターミナル/ブラウザ/テストの実行]

D --> E[差分生成とPR作成]

E --> F[型検査 テスト セキュリティレビュー 人間承認]

F --> G[マージ デプロイ 監視]

F --> H[失敗時の再計画と再実行]

H --> C

このフローが示すように、AI時代の開発は「コードを書く」よりも「仕様を作る・文脈を渡す・検証ループを設計する」比重が高くなります。ここを整えないと、AIの高速化はそのまま高速なバグ流入になります。 ²⁵

労働市場への影響

短期では、AIの主効果は**置換よりも増幅**です。NBERの大規模調査では、2024年後半の時点で就業者の23%が前週に仕事で生成AIを使い、毎日使う人は9%でした。AI支援は全労働時間の1~5%に及び、総労働時間換算で1.4%の時間節約が報告されています。これは「まだ全面代替ではないが、普及速度は非常に速い」ことを意味します。NBER ²⁶ の別研究では、顧客サポート職で平均14%、初心者では35%の生産性向上が確認されており、AIが熟練者のベストプラクティスを移転する効果が示唆されています。 ²⁷

ただし、ソフトウェア開発では効果が均一ではありません。METRのRCTは、熟練のOSS開発者が自分の慣れたコードベースでAIを使うと、2025年前半のツールでは平均19%遅くなったと報告しています。METRは2026年に研究デザインを見直しており、理由として「いまやAIなしで働きたくない参加者が増え、比較実験が難しくなっている」ことを挙げています。これは面白い逆説で、**AIはまだ万能でないが、同時に“なしでは戻れない”ほど仕事の前提になりつつある**ことを示しています。 ²⁸

企業レベルでは、役割の**再分解**が起きやすいでしょう。Anthropic社内研究では、社員はより“フルスタック化”し、以前なら着手しなかった細かな修正や探索的作業まで行えるようになった一方、深い技能の萎縮、同僚との相談減少、メンタリング機会の減少を懸念しています。したがって、AIは単純に人数削減へ一直線というより、**ジュニアの学習経路、レビュー文化、組織知の継承**を揺さぶる技術です。これは短期の生産性改善とは別の、より構造的な影響です。 ²⁹

中期の雇用見通しは、WEFの表現を借りれば「**強い再配置圧力を伴うネット・ポジティブ**」です。WEFのFuture of Jobs 2025では、2030年までに170百万の新規雇用と92百万の消失で純増78百万、企業の77%がアップスキリングを予定し、41%がAI自動化に応じて人員削減を見込むと答えました。他方で、ソフトウェ

ア・アプリケーション開発者はなお成長職種であり、AI/ML専門職やビッグデータ職種も増えます。つまり、**職種そのものが消えるというより、同じ職種名の中身が急速に変わる**と考える方が、データに沿っています。

30

長期については不確実性が大きいですが、Dario Amodeiの発言やAnthropic社内の使い方を見る限り、少なくとも「エンジニアの価値がコード記述量で測られる時代」は縮む可能性が高いです。代わりに価値を持つのは、問題設定、制約設計、評価基準の定義、可観測性、セキュリティ、責任分界、統合作業です。これは厳密には私の推論ですが、Google・Anthropic・METR・Stack Overflow・WEFの結果を並べると、この方向が最も整合的です。 31

実務への含意と推奨アクション

開発者への示唆

開発者にとって最優先は、「書く力」から「**任せて検証する力**」への**重心移動**です。具体的には、受け入れ条件を明確に書けること、テストを先に用意できること、CLAUDE.mdやREADMEを通じて文脈を整理できること、差分を素早く読み、怪しい出力を嗅ぎ分けられることが重要になります。AIが強いのは実装速度であって、責任の所在を引き受けるのはまだ人間です。したがって、**テスト、レビュー、設計、デバッグ、ログ読解**はむしろ価値が上がります。これはAnthropicのBest Practicesと社内研究、そしてStack Overflowの「almost-right code」問題から直接導ける実務的帰結です。 32

マネジャーへの示唆

マネジャーは、AI導入のKPIを**LOCやPR数だけに置かない**方がよいです。GoogleやAnthropicのような先端企業では、確かにマージ量や新規コード比率は上がりますが、それだけではレビュー負荷、変更失敗率、再作業、セキュリティリスク、メンタリング劣化を見落とします。評価軸は、リードタイム、変更失敗率、レビュー待ち時間、ロールバック率、障害復旧時間、テストカバレッジ、脆弱性混入率などに広げるべきです。これはDORAの長年の測定思想と、Anthropic社内研究が示す「出力量は増えるが時間や認知負荷はばらつく」という結果からの、かなり強い推論です。 33

教育機関への示唆

教育機関は、「AIが書くから基礎文法はいらない」という方向に振れるべきではありません。むしろ必要なのは、**基礎コーディング能力に加えて、仕様化、テスト設計、評価、セキュリティ、データ/モデルの限界理解**を教えることです。NBERとMETRを並べると、AIは初心者を大きく押し上げる一方、熟練者が馴染みのコードベースで使うと逆効果になることもあります。この差は、単なる“ツール操作”よりも、**どこに任せ、どこを自分で持つかの判断教育**が重要であることを示しています。 34

政策担当者への示唆

政策面では、最大の論点は「雇用総量」よりも**移行コストの偏り**です。WEFはネット雇用増を見込む一方で、41%の企業がAIで人員削減を見込むと答えています。したがって、政策は一枚岩ではなく、**ジュニア層・教育中の人材・中堅の再訓練・安全保障/公共領域の品質保証**を分けて考えるべきです。具体的には、実務型の再訓練、AI監査とセキュア開発の標準化、安全重要システムでのAI生成コードの説明責任、ジュニア雇用の入口を維持するインセンティブが重要になります。これはWEF報告と、Anthropicが示す社内の役割変化の両方から出てくる政策論点です。 35

主張・一次ソース・技術証拠の比較表

主張	一次ソース	技術証拠	判断
Googleはもう75%をAIに書かせている	Cloud Next 2026でPichaiが「新規コードの75%がAI生成で承認済み」と明言。2024年10月は25%超、2025年10月はほぼ半分。 ³⁶	Gemini 3はSWE-bench Verified 76.2%、Terminal-Bench 2.0 54.2%と公式に主張。Antigravityはターミナル/ブラウザ/エディタへ拡張。 ³⁷	高信頼 。ただし「75%」の分母は“新規コード”であり、仕事全体ではない。
Anthropicはほぼ100%をAIに書かせている	公式ページは「majority of code」。WEFでDarioは「コードを書かないエンジニアがいる」と述べた。Kriegerの“effectively 100%”は二次報道ベース。 ³⁸	Anthropic社内研究ではClaude利用59%、完全委任は多くが0~20%。Claude Codeは人間承認と慎重な実行設計。 ³⁹	中信頼 。一部文脈では極端に高いが、全社・全工程・全タスク100%と読むのは過剰。
人間はすぐに不要になる	Darioは6~12カ月予測を語るが、これは予測。WEFはネット雇用増を見込み、開発者職も成長職種。 ⁴⁰	Anthropicは高い利用率と低い完全委任率を同時に示す。METRは熟練者で-19%、NBERは別文脈で+14%/+35%。 ⁴¹	中~高信頼で否定 。不要化より、役割の再配分・二極化・入口の再設計が中心。

オープンクエスチョンと限界

指定されたYouTube動画については、この環境で正確な全文字幕・秒単位タイムスタンプ・登壇者ごとの逐語転写を取得できませんでした。そのため、本レポートの動画分析部分は、動画タイトルで示された主要命題を、公開された一次ソースと関連発言に照合する方式を採用しています。逐語的な「何分何秒で誰がこの言葉を言ったか」については、ここでは作りません。

また、Googleの75%もAnthropicの多数派/ほぼ100%も、公開発言には測定方法の詳細がありません。行数なのか、トークンなのか、変更差分なのか、accepted code suggestion数なのかは不明です。このため、比率を横並びで厳密比較するには限界があります。⁴²

さらに、Anthropic社内の生産性向上は自己申告が含まれ、METRは特定条件の熟練OSS開発者に限定されません。したがって、「AIは常に生産性を上げる」「AIは熟練者を必ず置き換える」といった一般化は、どちらも時期尚早です。今のところ最も妥当なのは、AIはコード作成の中心ツールになりつつあるが、その効果は文脈依存であり、検証・統合・責任はまだ強く人間側に残るという整理です。¹⁴

参考URL

[Primary / official]

<https://blog.google/inside-google/message-ceo/alphabet-earnings-q3-2024/>
<https://blog.google/innovation-and-ai/infrastructure-and-cloud/google-cloud/gemini-enterprise-sundar-pichai/>
<https://blog.google/innovation-and-ai/infrastructure-and-cloud/google-cloud/cloud-next-2026-sundar-pichai/>
<https://blog.google/technology/developers/gemini-code-assist-free/>

<https://blog.google/products/gemini/gemini-3>
<https://www.anthropic.com/product/claude-code>
<https://docs.anthropic.com/en/docs/claude-code/overview>
<https://www.anthropic.com/engineering/claude-code-best-practices>
<https://www.anthropic.com/research/how-ai-is-transforming-work-at-anthropic>
<https://www.anthropic.com/news/claude-4>
<https://www.anthropic.com/news/claude-opus-4-5>
<https://www.anthropic.com/news/claude-opus-4-6>
<https://www.anthropic.com/engineering/swe-bench-sonnet/>
<https://www.weforum.org/podcasts/radio-davos/episodes/ai-agi-dario-amodei-demis-hassabis/>
<https://www.weforum.org/reports/the-future-of-jobs-report-2025>
<https://www.weforum.org/press/2025/01/future-of-jobs-report-2025-78-million-new-job-opportunities-by-2030-but-urgent-upskilling-needed-to-prepare-workforces/>
<https://www.nber.org/papers/w32966>
<https://www.nber.org/papers/w31161>
<https://dora.dev/report/2024>
<https://metr.org/blog/2025-07-10-early-2025-ai-experienced-os-dev-study/>
<https://metr.org/blog/2026-02-24-uplift-update/>
<https://stackoverflow.blog/2025/12/29/developers-remain-willing-but-reluctant-to-use-ai-the-2025-developer-survey-results-are-here/>

[Supplementary / used only to triangulate the attributed Mike Krieger “100%” claim]

<https://indianexpress.com/article/technology/artificial-intelligence/anthropic-100-percent-code-ai-generated-claude-10522033/lite/>
<https://www.indiatoday.in/technology/news/story/anthropic-says-ai-writing-nearly-100-percent-code-internally-claude-basically-writes-itself-now-2865644-2026-02-09>
<https://economictimes.indiatimes.com/tech/artificial-intelligence/100-of-claude-code-effectively-ai-written-anthropic-cpo/articleshow/128075643.cms/>
<https://www.ciscoaisummit.com/on-demand/enterprise-ai.html>

1 8 13 16 23 38 <https://www.anthropic.com/product/claude-code>

<https://www.anthropic.com/product/claude-code>

2 3 24 <https://blog.google/inside-google/message-ceo/alphabet-earnings-q3-2024/>

<https://blog.google/inside-google/message-ceo/alphabet-earnings-q3-2024/>

4 6 20 25 32 [https://www.anthropic.com/engineering/claude-code-best-practices?](https://www.anthropic.com/engineering/claude-code-best-practices?_bhlid=6d35c25e04616eabb4469b78a6e8848b61863ba0)

[_bhlid=6d35c25e04616eabb4469b78a6e8848b61863ba0](https://www.anthropic.com/engineering/claude-code-best-practices?_bhlid=6d35c25e04616eabb4469b78a6e8848b61863ba0)

https://www.anthropic.com/engineering/claude-code-best-practices?_bhlid=6d35c25e04616eabb4469b78a6e8848b61863ba0

5 21 37 <https://blog.google/products/gemini/gemini-3>

<https://blog.google/products/gemini/gemini-3>

7 17 26 40 <https://jp.weforum.org/podcasts/radio-davos/episodes/ai-agi-dario-amodei-demis-hassabis/>

<https://jp.weforum.org/podcasts/radio-davos/episodes/ai-agi-dario-amodei-demis-hassabis/>

9 14 22 29 39 41 [https://www.anthropic.com/research/how-ai-is-transforming-work-at-anthropic?](https://www.anthropic.com/research/how-ai-is-transforming-work-at-anthropic?_bhlid=a7e3f607f44286fc408ba054cefcc35c4ed9c61b)

[_bhlid=a7e3f607f44286fc408ba054cefcc35c4ed9c61b](https://www.anthropic.com/research/how-ai-is-transforming-work-at-anthropic?_bhlid=a7e3f607f44286fc408ba054cefcc35c4ed9c61b)

[https://www.anthropic.com/research/how-ai-is-transforming-work-at-anthropic?](https://www.anthropic.com/research/how-ai-is-transforming-work-at-anthropic?_bhlid=a7e3f607f44286fc408ba054cefcc35c4ed9c61b)

[_bhlid=a7e3f607f44286fc408ba054cefcc35c4ed9c61b](https://www.anthropic.com/research/how-ai-is-transforming-work-at-anthropic?_bhlid=a7e3f607f44286fc408ba054cefcc35c4ed9c61b)

10 30 35 <https://www.weforum.org/reports/the-future-of-jobs-report-2025>

<https://www.weforum.org/reports/the-future-of-jobs-report-2025>

11 12 15 19 31 36 42 <https://blog.google/innovation-and-ai/infrastructure-and-cloud/google-cloud/cloud-next-2026-sundar-pichai/>

<https://blog.google/innovation-and-ai/infrastructure-and-cloud/google-cloud/cloud-next-2026-sundar-pichai/>

18 <https://indianexpress.com/article/technology/artificial-intelligence/anthropic-100-percent-code-ai-generated-claude-10522033/lite/>

<https://indianexpress.com/article/technology/artificial-intelligence/anthropic-100-percent-code-ai-generated-claude-10522033/lite/>

27 <https://www.nber.org/papers/w32966>

<https://www.nber.org/papers/w32966>

28 <https://metr.org/blog/2025-07-10-early-2025-ai-experienced-os-dev-study/?utm75489d9d84130e6aed4e2b4bc523839316source=chatgpt.com>

[https://metr.org/blog/2025-07-10-early-2025-ai-experienced-os-dev-study/?](https://metr.org/blog/2025-07-10-early-2025-ai-experienced-os-dev-study/?utm75489d9d84130e6aed4e2b4bc523839316source=chatgpt.com)

[utm75489d9d84130e6aed4e2b4bc523839316source=chatgpt.com](https://metr.org/blog/2025-07-10-early-2025-ai-experienced-os-dev-study/?utm75489d9d84130e6aed4e2b4bc523839316source=chatgpt.com)

33 <https://dora.dev/report/2024>

<https://dora.dev/report/2024>

34 <https://www.nber.org/papers/w31161>

<https://www.nber.org/papers/w31161>